

赤城山覚満淵(所要時間 2 時間)



【自然観察】

(内容)

・覚満淵を一周し、高山植物、野鳥、水鳥、昆虫の観察をする。

・ネイチャーゲーム(フィールドピング)

(ねらい)自然観察を通して、湿原から乾燥地への遷移について理解できるようになる。



赤城大沼(所要時間 1 時間 15 分)



【水辺での観察、遊び】

(内容)・水辺の生物の観察。

・水辺で遊ぶ。

(ねらい)遊びや観察を通して、水生生物の性質について関心を持つことができるようになる。

指導体制：指導者 2 名、指導助手 7 名 に対し **対象人数**：20~30 人

準備：事前の下見、雨天のプログラム用意

留意点： 捕獲した生物は生態系保護のため、必ず自然に帰すようにする。
指導者やスタッフの確保と入念な打ち合わせが必要。

プログラムの関連性：

小学校学習指導要領

理科 内容 B 生命・地球

3 年(2) 身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。

4 年 (2) 季節と生物 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

5 年 (1) 植物の発芽・成長・結実 植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、

成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること

ウ 植物の生長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのものが実になり、実の中に種子ができること。

6 年 (3) 生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかがわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。